

株主・投資家の皆様へ

# Business Report 2009

平成21年3月期事業のご報告



人々をゆたかにする心と  
技術をはぐくみ、  
社会のために幸せを創造する。



 **前澤化成工業株式会社**

証券コード:7925

当期の業績

● 売上高

22,841 百万円

● 経常損失

109 百万円

● 当期純損失

484 百万円

● 配当金

33 円



代表取締役社長

難波 理夫

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
ここに、平成21年3月期[事業のご報告](平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社は創業以来、一貫して「水」に関わりを持ち、地域に密着した営業活動のもとにお客様のニーズを汲み上げ、付加価値の高い独自製品を開発するという事業展開を行ってまいりました。近年は、培ってきた営業的・技術的ノウハウを活かし、上下水道関連資材分野を事業の基盤としつつ、雨水関連分野や環境関連分野の充実に注力しております。また、「人々をゆたかにする心と技術をはぐくみ、社会のために幸せを創造する」という経営理念のもと、「水分野」という枠を一步でた、総合的な生活環境の向上という視点での提案開発活動も行っています。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、当期末の配当金につきましては、6月25日にお支払いすることを決定させていただきましたので、宜しくご了承を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国発の金融危機に端を発した世界規模での経済的混乱の中で、経営環境は急激に悪化し、雇用情勢や所得にも大きな影響を及ぼしたため個人消費ももりあがらず、極めて厳しい状況で推移いたしました。

当社グループの関連する上水道・下水道業界および住宅機器関連業界におきましても、公共投資や新設住宅着工は引き続いて減少傾向にある中で、投機的資金が原材料の異常な高騰をもたらし、収益構造を根底からゆるがす厳しい経営環境となりました。

このような状況の中で当社グループは、ビニヘッダーや基礎貫通スリーブ、排水用吸気弁などで構成する排水システム部材の拡販に向け、専従チームを設けて営業力の強化を図り、ハウスメーカーから地場ビルダーまで幅広い顧客の開拓に努めてまいりました。しかしながら、製品需要停滞の影響を回避するには至らず、売上高は減収となりました。

一方、生産面におきましては、多様なニーズに対応するための研究開発力と生産技術力を高め、生産体制の合理化や業務の効率化による生産性向上と、経費削減をはじめとするコストダウンの徹底追求を実行しているものの、原材料価格高騰は製造原価を押し上げる要因となりました。

なお、特別利益として投資有価証券売却益154百万円を、特別損失として投資有価証券評価損545百万円を、それぞれ計上いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高228億41百万円、営業損失3億13百万円、経常損失1億9百万円、当期純損失4億84百万円となりました。

次期の見通し

今後のわが国経済は、いまだに収束の気配が感じられない世界経済の混乱を背景に、企業業績や雇用情勢に不安が高まるため個人消費の冷え込みが続き、景気の先行きにつきましては予断を許さない状況が続くものと思われまます。

当社グループをとりまく環境につきましても、公共投資の減少傾向や新設住宅着工の低迷は依然として続くことと予想されること、さらには原材料価格の先行き不透明感が残ることなどから、引き続き厳しい状況で推移するものと思われまます。

このような経営環境の中、当社グループといたしましては積極的に新規需要・新規顧客の開拓を行って売上拡大を図るとともに、営業活動および生産体制の効率化と合理化の実践でさらなるコストダウンを追求し、業績回復に向けて努めてまいります。具体的には、省エネルギー・環境配慮をテーマとして、水環境システム「アジティス」の市場への本格参入、さらには、次代を担う新分野の製品として雨水マス・雨水浸透マスや雨水貯留浸透槽からなる雨水処理システムの構築を進めております。

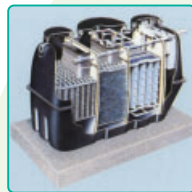
このような状況に基づきまして、次年度の連結業績予想は売上高233億円、営業利益2億80百万円、経常利益4億40百万円、当期純利益1億80百万円を見込んでおります。



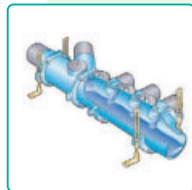
## 製品のご紹介

マエザワの製品は、水まわりを中心に様々な分野で活躍しております。  
 当期からは子会社の製品も新たに仲間に加わりました。  
 これからも、より幅広く皆様の暮らしを支えてまいります。

### ●環境機器関連製品



小型浄化槽



ビニヘッダー



基礎貫通スリーブ

### ●下水道関連製品



排水用吸気弁



ビニマシステム



ビニ内副管



量水器ボックス

### 新登場



### 【HI透明継手】

HI継手に透明タイプが新登場。  
 深いクリスタルブルーのボディで、  
 接着剤の塗り忘れ防止の確認が  
 容易になりました。



コントロールパネル



テレビフレーム

●その他  
 住宅機器  
 電気機械器具



水栓柱/水栓パン



TS継手

### ●上水道関連製品

## ピックアップ 1

注目製品



### 「VP耐熱製品シリーズ」

エコキュートの普及などにより、高温排水分野での配管構築が求められる中、マエザワの「VP耐熱製品シリーズ」が注目を集めております。材質は優れた耐熱性を誇る「耐熱性硬質塩化ビニル」製。  
 時代と現場のニーズにお応えできる多彩なラインナップで、皆様のサポートしてまいります。

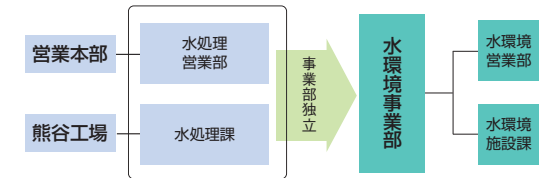
### 「グリーストラップ」



「グリーストラップ」は、ゴミや油脂分が排水にそのまま流れ込まないように、分離・回収する装置です。  
 マエザワのグリーストラップは、幅広いラインナップで様々な用途に対応いたします。

## ピックアップ 2

マエザワの「水環境システム」



地球温暖化や深刻な水資源の危機に直面している現在、「省エネルギーで高効率な水環境システム」が切望されております。

そうした状況を踏まえ、当社は今期より「水環境事業部」を設置いたしました。

水処理分野においては、省スペースで低コスト省エネルギー化を実現する担体流動システム「アジティス」や、膜分離活性汚泥システムなどにより、様々な事業所における排水の高度処理を実現しております。

また、雨水、排水などを「水資源」として確保し合理的に利用する「水資源環境システム」の構築により、環境に貢献していこうと考えております。

マエザワは、これからも率先して環境問題の解決に貢献する製品を作り上げていくことを目指してまいります。



担体 MSPU10-01C (10mm×10mm×10mm)

第3の  
水分野

近年、都市化により地面の雨水貯留・浸透量は低下しています。加えて気候変動による大雨増加で浸水被害も発生しやすく、雨水コントロールの重要性を指摘する声は一層高まりつつあります。マエザワでは以前より雨水を“第3の水分野”と捉え、関連製品の開発に積極的に取り組んでまいりました。今回は、当期より本格的に市場参入する「雨水貯留浸透槽」をご紹介します。

## 01 雨水貯留浸透ユニット「レインキューブ」

「雨水貯留浸透ユニット」は、「雨水浸透マス」の「浸透部」をユニット化した製品です。従来は、マスの浸透部の周囲に砕石を敷き詰める必要がありましたが、ユニット化によりそれが不要となり、施工性・経済性アップを実現しました。

主に宅地内への設置を想定しておりますが、ユニット下部の組み合わせにより形状を変えることができ、狭小地など様々な現場に対応できる点が特徴です。



## 02 雨水貯留浸透施設

「雨水貯留浸透施設」はプラスチック製のブロックを大量に連結して組上げ、外周部に壁、上面に天板を取り付け、その周囲をシートで覆って槽を作り上げる、中～大規模の貯留浸透施設です。

依頼者の要望に合わせ、シートの組み合わせ方により、貯留型、浸透型、貯留浸透型の層を構築していきます。

公園や学校、商業施設などの地下に設置され、今後ますます需要の伸びが期待できます。

マエザワは、これからも雨水関連製品の開発に力を注ぎ、皆様が安心して快適に暮らせる環境づくりをサポートしてまいります。

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当 期 H21.3.31現在	前 期 H20.3.31現在
<b>資産の部</b>	<b>39,987</b>	<b>41,841</b>
<b>流動資産</b>	<b>19,540</b>	<b>18,242</b>
現金及び預金	6,552	4,919
受取手形及び売掛金	8,585	8,877
有価証券	757	754
たな卸資産	3,071	2,780
繰延税金資産	362	253
その他	375	692
貸倒引当金	△165	△34
<b>固定資産</b>	<b>20,447</b>	<b>23,598</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>12,999</b>	<b>14,326</b>
建物及び構築物	4,903	5,212
機械及び装置	2,092	2,638
工具器具及び備品	1,039	1,496
土地	4,940	4,925
その他	22	53
<b>無形固定資産</b>	<b>404</b>	<b>508</b>
のれん	135	169
ソフトウェア	251	321
その他	16	16
<b>投資その他の資産</b>	<b>7,044</b>	<b>8,763</b>
投資有価証券	6,284	8,025
その他	773	740
貸倒引当金	△13	△1
<b>資産合計</b>	<b>39,987</b>	<b>41,841</b>

(単位:百万円)

	当 期 H21.3.31現在	前 期 H20.3.31現在
<b>負債の部</b>	<b>6,621</b>	<b>6,735</b>
<b>流動負債</b>	<b>6,195</b>	<b>6,008</b>
支払手形及び買掛金	4,184	3,932
短期借入金	596	521
未払法人税等	53	38
賞与引当金	391	388
その他	970	1,128
<b>固定負債</b>	<b>426</b>	<b>727</b>
長期借入金	40	86
繰延税金負債	202	481
役員退職慰労引当金	71	86
退職給付引当金	14	—
その他	98	72
<b>純資産の部</b>	<b>33,366</b>	<b>35,105</b>
<b>株主資本</b>	<b>32,917</b>	<b>34,264</b>
資本金	3,387	3,387
資本剰余金	6,363	6,363
利益剰余金	23,817	24,815
自己株式	△650	△301
<b>評価・換算差額等</b>	<b>396</b>	<b>764</b>
その他有価証券評価差額金	396	764
<b>少数株主持分</b>	<b>52</b>	<b>76</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>39,987</b>	<b>41,841</b>

## ● 資産、負債及び純資産の状況

資産は主に、投資有価証券の売却などによる現金及び預金の増加などがあったものの、有形固定資産の減価償却や投資有価証券の減損処理などによる減少があり、399億87百万円となりました。負債は、主に、

支払手形及び買掛金などが増加したものの、繰延税金負債が減少し、66億21百万円となりました。純資産は、評価・換算差額等の減少や当期純損失の計上、剰余金の配当により、333億66百万円となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当期 H20.4.1~H21.3.31
売上高	22,841
売上原価	17,170
売上総利益	5,671
販売費及び一般管理費	5,984
<b>営業利益</b>	<b>△313</b>
営業外収益	272
営業外費用	68
<b>経常利益</b>	<b>△109</b>
特別利益	155
特別損失	637
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>△591</b>
法人税、住民税及び事業税	55
法人税等調整額	△137
少数株主利益	△23
<b>当期純利益</b>	<b>△484</b>

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当期 H20.4.1~H21.3.31
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,626
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	270
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△833
<b>増減額 計</b>	<b>2,063</b>
IV. 現金及び現金同等物の期首残高	3,232
V. 現金及び現金同等物の期末残高	5,296

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当期 H21.3.31現在	前期 H20.3.31現在
<b>資産の部</b>	<b>38,463</b>	<b>40,199</b>
<b>流動資産</b>	<b>18,526</b>	<b>17,175</b>
現金及び預金	6,317	4,733
受取手形及び売掛金	7,386	7,881
有価証券	757	754
たな卸資産	2,621	2,474
その他	1,463	1,358
貸倒引当金	△19	△27
<b>固定資産</b>	<b>19,937</b>	<b>23,024</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>11,808</b>	<b>13,082</b>
建物	4,277	4,524
機械及び装置	1,964	2,516
工具器具及び備品	1,001	1,409
土地	4,325	4,326
建設仮勘定	—	16
その他	240	289
<b>無形固定資産</b>	<b>230</b>	<b>324</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>7,897</b>	<b>9,617</b>
投資有価証券	6,284	8,025
その他	1,626	1,593
貸倒引当金	△12	△1
<b>資産合計</b>	<b>38,463</b>	<b>40,199</b>

負債及び純資産計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当期 H21.3.31現在	前期 H20.3.31現在
<b>負債の部</b>	<b>4,902</b>	<b>5,170</b>
<b>流動負債</b>	<b>4,530</b>	<b>4,559</b>
支払手形及び買掛金	3,176	3,247
未払法人税等	52	37
賞与引当金	346	348
その他	954	925
<b>固定負債</b>	<b>372</b>	<b>611</b>
繰延税金負債	202	481
役員退職慰労引当金	71	86
退職給付引当金	14	—
その他	84	42
<b>純資産の部</b>	<b>33,560</b>	<b>35,029</b>
<b>株主資本</b>	<b>33,164</b>	<b>34,264</b>
資本金	3,387	3,387
資本剰余金	6,363	6,363
利益剰余金	24,064	24,815
自己株式	△650	△301
<b>評価・換算差額等</b>	<b>396</b>	<b>764</b>
その他有価証券評価差額金	396	764
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>38,463</b>	<b>40,199</b>

連結株主資本等変動計算書

当期 (H20.4.1~H21.3.31)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成20年3月31日 残高	3,387	6,363	24,815	△301	34,264	764	76	35,105
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△513		△513			△513
当期純損失			△484		△484			△484
自己株式の取得				△349	△349			△349
自己株式の処分		△0		0	0			0
その他資本剰余金の 負の残高の振替		0	△0		—			—
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△368	△23	△392
連結会計年度中の変動額合計		—	△998	△348	△1,346	△368	△23	△1,739
平成21年3月31日 残高	3,387	6,363	23,817	△650	32,917	396	52	33,366

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当期 H20.4.1~H21.3.31	前期 H19.4.1~H20.3.31
売上高	19,452	20,067
売上原価	14,158	14,525
販売費及び一般管理費	5,465	5,482
<b>営業利益</b>	<b>△171</b>	<b>59</b>
営業外収益	273	236
営業外費用	55	18
<b>経常利益</b>	<b>47</b>	<b>277</b>
特別利益	155	109
特別損失	591	604
<b>税引前当期純利益</b>	<b>△388</b>	<b>△217</b>
法人税、住民税及び事業税	54	83
法人税等調整額	△206	185
<b>当期純利益</b>	<b>△237</b>	<b>△485</b>

● 注記

当社は平成20年1月、「共和成型株式会社」を子会社化いたしました。前連結会計年度におきまして、「連結損益計算書」・「連結キャッシュ・フロー計算書」を作成しておりません。したがって、「連結損益計算書(要旨)」および、「連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)」は、当期分のみ記載となります。



**会社概要** Corporate Data 平成21年6月24日現在

商号 前澤化成工業株式会社  
 MAEZAWA KASEI INDUSTRIES CO., LTD.  
 設立 1954年12月10日  
 資本金 33億8,730万円  
 社員数 527名(単体)  
 650名(連結)(平成21年3月31日現在)  
 事業内容 (1)硬質塩化ビニル管および継手の製造、販売  
 (2)量水器ボックス・バルブ等上水道用機材の製造、販売  
 (3)インパトマス・掃除口等下水道用機材器具の製造、販売  
 (4)小型浄化槽・雑排水処理槽等住宅関連機器の製造、販売  
 (5)浄化槽等水処理機器の製造、販売および工事

役員 代表取締役社長 難波理夫  
 専務取締役 池嶋勝治 製造本部長兼共和成型株式会社管掌  
 常務取締役 遠藤俊哲 管理本部長兼総務部長  
 常務取締役 湯浅茂 営業本部長  
 取締役執行役員 矢代直志 開発設計部長  
 取締役執行役員 吉岡典彦 中央研究所長兼水環境事業部長  
 常勤監査役 樋口二三昭  
 監査役 齋藤榮 弁護士  
 監査役 高橋徹 特定社会保険労務士  
 監査役 久野義行 公認会計士  
 執行役員 小林良明 営業企画部長  
 執行役員 石田雄二 中国支店長  
 執行役員 住友耕次 熊谷工場長兼生産技術部長  
 兼生産企画部長  
 執行役員 窪田政弘 関西支店長

監査役 齋藤 榮・同 高橋 徹および久野 義行の3氏は、社外監査役であります。

**株式の状況** Stock Information 平成21年3月31日現在

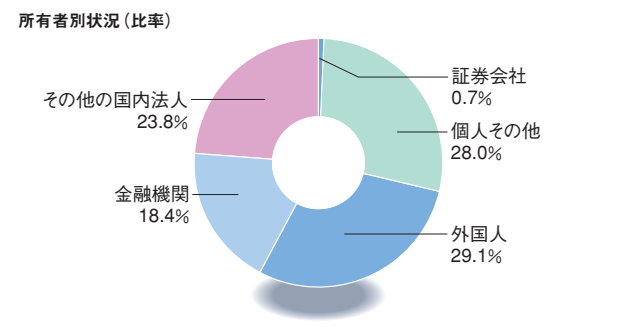
発行可能株式総数 36,000,000株  
 発行済株式の総数 15,732,000株  
 株主数 6,687名

**大株主**

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	2,076	13.69
前澤工業株式会社	879	5.79
前澤給装工業株式会社	842	5.55
ザバンクオブニューヨークノントリーティージャスデックアカウント	654	4.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	612	4.03
ダンスケバンククライアランスホールディングス	416	2.74
財団法人前澤育英財団	360	2.37
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505420	291	1.92
株式会社りそな銀行	291	1.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	265	1.75

(注) 1. 当社の保有する自己株式570千株(3.62%)は、上記大株主から除いております。  
 2. 持株比率は、自己株式570千株(3.62%)を控除して計算しております。

**株式分布状況**



(注) 所有者別株式分布状況は、自己株式570千株(3.62%)を控除して計算しております。

**ネットワーク** Network 平成21年4月1日現在

- 本社 : 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-7-2 八重洲三井ビル
- 北日本支店 : 〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台
- 北関東支店 : 〒330-0841 埼玉県さいたま市大宮区東町2-20 三井住友海上大宮東町ビル
- 東京支店 : 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-8-6 日本橋ビル
- 中部支店 : 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-17-34 ナカモビル
- 関西支店 : 〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町3-3-9 田村駒ビル
- 中国支店 : 〒730-0805 広島県広島市中区十日市町1-1-9 鷹匠ビル
- 九州支店 : 〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴1-2-22 天神ジャパンビル
- 営業拠点 : 全国27ヶ所
- 水環境事業部 : 〒360-0236 埼玉県熊谷市市ノ坪408
- 熊谷工場 : (第一) : 〒360-0236 埼玉県熊谷市市ノ坪408  
(第二) : 〒360-0238 埼玉県熊谷市妻沼西1-1



**ホームページのご紹介**



弊社ホームページでは、会社情報・事業内容・IR情報をはじめ、様々な最新の情報を掲載しております。どうぞ本誌と併せてご覧ください。

<http://www.maezawa-k.co.jp/>

**IRカレンダー**

2009 (H21)	5月	決算短信発表 決算説明会(東京)
	6月	第55回定時株主総会(東京)
	7月	第1四半期決算短信発表予定
	10月	第2四半期決算短信発表予定
	11月	第2四半期決算説明会(東京)

## 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当金	毎年3月31日
	中間配当金	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月	
単元株式数	100株	
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
公告掲載URL	<a href="http://www.maezawa-k.co.jp/">http://www.maezawa-k.co.jp/</a>	
上場取引所	東京証券取引所市場第一部	
証券コード	7925	
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社	
郵便物送付先  (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。	

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

## 前澤化成工業株式会社

東京都中央区八重洲二丁目7番2号  
TEL:03-3275-0711(代表)

<http://www.maezawa-k.co.jp/>



本誌は地球環境を考えたアロマフリー型大豆油インキを使用しています。